



諏訪森だより



駅舎・まち・ひとびと



## 諏訪ノ森駅 駅周辺景観デザイン 堺市主催の市民意見交換会が開催されます ぜひご出席下さい!



1. 日時 平成26年3月30日(日) 13:30 ~ 15:00  
(13:00より受付開始) 参加料無料
2. 開催場所 浜寺三光会館 定員50名
3. 内容
  - ・最優秀受賞者から作品について説明
  - ・意見交換会

1月に新しい諏訪ノ森駅についてのデザインコンペの結果発表があり、入選作品がきまりました。

堺市は上記の通り市民との意見交換会を開催します。当日は最優秀賞受賞者であるジェイアール東日本建築設計事務所の方からデザインについての説明があり、その後で意見交換が行われます。

デザインの概要はすでに会員各位にお知らせしておりますが、疑問点やご意見・ご要望があれば直接デザイナーと対話ができますので、ぜひご出席下さい。

会場の定員は50名ということになっております。当会ではある程度の人数は予測して席を確保しておきますが、出来れば「あいちゃん」まで事前にご一報頂ければ幸甚です。なお当日会場での申し込みも可能です。万障お繰り合わせの上ご参加下さい。

## 第4回「新しい諏訪ノ森駅を語る集い」から・・・

浜寺諏訪森を考える会では、本年2月26日に三光会館で第4回「新しい諏訪ノ森駅を語る集い」を開催して、公表された新駅デザインに対する会員各位のご意見を集約いたしました。

今回の意見交換会には、それらのご意見はまとめて呈示いたします。また、堺市に対しては事前に文書にて提出する手はずになっています。

「語る集い」で参加者から出されたご意見は次の通りでした。会員各位のご参考に供します。

- ・ベンチがいたるところに配置されており、少し多いような気もするが人が集まる場所にふさわしい。
- ・ステンドグラスを駅舎壁面に配置し、日中はステンドグラスを通して内部に光が入り、夜間は外部にデザインが映し出されると思われる。本物のステンドグラスなのか、淡路島や白砂青松と海など現在のステンドグラスのデザインを参考にされるのかどうかも含め、どのようなデザインなのかなど詳細は不明。
- ・現駅舎はカフェをベースとした上で多面的に活用することが可能。
- ・ホームから駅前広場を見渡せる構造になっている。
- ・アナモルフォーシスという技術を用いて、現駅舎などを駅舎跡に配した記憶の柱に再現する仕掛けがあるが、その意図や実体がわからない。ただし大正時代に芸術的シンボルとしてステンドグラスを設置したと同じように、平成にアナモルフォーシスを位置付けると興味深い。
- ・諏訪ノ森らしさとともに、一目で諏訪ノ森とわかる駅という主張に欠ける。
- ・諏訪ノ森らしさを演出する場所として、また高齢者や障害者に関心が集まる時代に向けて、安全性に考慮する必要がある場所でもあるホーム上の仕掛けに関する表現が少ないので、南海電鉄も交えて機能的視覚的デザインを考えてほしい。
- ・駅とともに町の顔である商店街との融合性はどうか。駅舎東側のデザインの情報が少ない。
- ・駅周辺の樹木が少ない。松の木も良いが昔はアカシアが線路際など付近に多く育成していた。参考にならないか。
- ・今後の課題として高架下が殺伐とにならないような工夫を願う。集客できるしかけが必要である。
- ・ロータリー周辺のシェルター屋根は評価できるが、幅がやや狭いように思う。
- ・自転車、通行人、車の動線を確認したい。特に自転車と人との分離を考えないと、特に駅入り口付近は買い物客の往来が多く、ベンチや「記憶の柱」などもあって混乱しそうである。
- ・駅前広場の中央に松の木が植えられているが、当会からはここをイベント広場として使用する提案を出しており、想定されているかを知りたい。